



【学校教育目標】 進んで勉強する子 仲よく協力する子 明るい元気な子

藤沢東小だより

令和8年6月



どのようにして人間関係を調整していきますか

校長 武田 功一

5月23日の学校公開では、多くの方に子どもたちの学習の様子を参観していただき、午後は、引き渡し訓練にご協力いただき、感謝申し上げます。

人間関係に悩むのは、大人だけでなく子どもも悩みます。たまたま同じ学区で生活していて、たまたま同じ年齢の子と同じクラスになる、それが学校です。

例えば、「Aさんに声をかけたけど無視された。だから、自分もAさんを見無視することにした。やがて、Aさんとの関係は修復不可能くらい悪くなってしまった」という事例があったとします。後にAさんに聞くと、「声をかけられた記憶がなく、自分を避けている感じがして、自分も話しかけにくくなってしまった」と言っています。この場合、Aさんはいじめの加害者でしょうか。

また、毎日嫌なことを言われ続けても我慢をしていたBさんが、ついに我慢できなくなり相手に暴力をふるってしまった場合、Bさんは加害者で、その相手は被害者でしょうか。もちろん、どんな理由があれ、暴力は許されないことであることは明らかなことです。

これらはどうやって解決したらよいのでしょうか。事がこじれてから解決するのは困難です。どちらにも言い分があり、相手を責めた状態では解決からは遠ざかります。大人の価値観でこういったトラブルを判断してはいけないと考えます。私は、初期対応が大切だと考えます。前者の場合、無視されたと感じた時、「どうしたの?」と聞いてみる。後者の場合、嫌なことを言われたときに「嫌なんだ」と言葉で伝えることです。相手との距離をとることも時には必要ですが、コミュニケーション能力を身につけることも必要だと思います。対応によっては、学校や家庭はそういったことを学ぶ機会を奪ってしまうことになりかねないことを頭の隅に入れておく必要があると思います。

みんなで一緒に活動する縦割り活動、同じ趣向をもつ仲間と活動するクラブ活動、学級をよりよくしていく学級会、自分たちで助け合いながら活動する宿泊学習や修学旅行。道徳の授業などをとおして身につく「共に生きることの大切さ」「仲間がいる素晴らしさ」は、人間関係をよりよくしていくことになります。そこには目指す姿があります。

教師を含め、大人がすべきことは何でしょうか。どんな場合にも、だれもが満足する解決方法を私は備えているわけではありません。子どもの気持ちを受け止められること。そして、どうしたらよいのか一緒に考えることが大切だと思います。なかなか簡単にできることではないかもしれませんが、学校も家庭も地域も子どもに寄り添える存在でありたいものです。

これからの時代、人間関係のあり方はこれまでと違って来るかもしれません。人間関係はあまり重要視されず、苦手な人のことを深く考えなくていいことになるかもしれません。しかし、子どもたちが大人になったとき、人間関係を調整してくれる先生や親はいません。自分で人間関係を調整していかなければなりません。人は人との関係の中で成長します。自分の気持ちを自分の言葉で伝えて、相手の言葉を受け止める能力が備われば、人間関係も良くなり、いじめやトラブルも減少すると考えています。それとも、AIや代行業者が解決する時代になるのでしょうか。

こども食堂ネットワークいるま KUROKOプロジェクト

「食べることに困るこどもを0にしたい」の思いの下、子ども自身が「お腹がすいた。困っている。」と声をあげることができるために、藤沢東小学校でも、その理念の一助になればと思っています。カレーやごはんなどのレトルト食品を校長室に置きますので、必要な方はご家庭または子どもの判断でお持ちいただいても構いません。気軽にお声かけください。

スクールカウンセラー、さわやか相談員来校日

○スクールカウンセラー（中川 真由美先生）来校日 10:00～16:00

6/17 9/16 10/21 11/18 12/16 1/27 2/24 3/24 いずれも水曜日

○さわやか相談員（上藤沢中学校 濱野 陽子先生）1学期来校日

6/9 7/7 9/8 10/29 11/17 12/10 1/26 2/9 3/9

○さわやか相談員（藤沢中学校 加納 萌子先生）1学期来校日

6/16 7/14 9/16 10/22 11/27 1/19 2/24 3/17

*さわやか相談員来校日は火曜日 相談時間は13:30～15:30です。

・相談の希望がありましたら、担任をとおして学校まで連絡ください。子ども、保護者とも可です。

生活目標

年間目標 自分からすすんであいさつをしよう

1学期重点目標 きまりを守って気持ち良く生活しよう

6月の生活目標 **ろうかや階段は静かに右側を歩こう**



家庭学習を自ら取り組み、習慣化へ

学び続けることは、子どもだけでなく大人にとっても将来をよりよく生きていくために必要なことです。本校では、毎月チャレンジ週間を設けております。このチャレンジ週間では、

○自分に挑戦する（できなかったことへの挑戦）

○不安なことを自信につなげる（繰り返し学ぶ）

○家族との団らんや家族の役に立つ時間とする

などのことを、自分や家族と相談しながら課題を設定します。そのためにも以下の点について、家庭でもご配慮ください。

○決まった時刻に取り組み（曜日によって違ってよい）

○学習に適した環境（学習する場所、まわりの音）

○取り組んだことを記録する

○ゲームやスマホ使用の家庭でのルール

与えられた課題より、自分で計画を立てて取り組む子の方が学力は向上します。学期ごとや1年間継続して取り組める課題を設定し、じっくり取り組むことも効果的です。やらされている課題から、自ら取り組む課題にシフトチェンジしませんか。

1, 2年遠足 (5/15 中央公園)



引き渡し訓練 (5/23)

